

# 平成30年度活動報告

①H30.4	日本大学生産工学部出前講座	.....	P 2
②H30.7	インターンシップ&キャリアセミナー（下水道展in北九州）	...	P 3
③H30.8	下水道マニアin舞岡高校	.....	P 4
④H30.9	下水道管更生技術施工展in神戸	.....	P 5
⑤H30.10	東京電機大学お仕事研究セミナー	.....	P 6
⑥H30.11	Japan-YWPウィークエンドセミナー	.....	P 7
⑦H30.11	立命館大学出前講座	.....	P 9
⑧H30.11	日本大学理工学部出前講座	.....	P 11
⑨H30.11	三河島水再生センター見学・ワークショップ	.....	P 12
⑩H30.11	京都大学出前講座	.....	P 16
⑪H30.12	木更津高専×GKP未来会	.....	P 18
⑫H30.12	東京都市大学業界・仕事研究会(世田谷)	.....	P 19
⑬H31.1	日本大学生産工学部出前講座	.....	P 20
⑭H31.2	大阪工業大学出前講座	.....	P 21

# 日本大学生産工学部出前講座（平成30年4月9日）

GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、平成30年4月9日に日本大学生産工学部でGKP未来会の活動を行いました。森田弘昭教授にご依頼頂き、初めての開催となりました。

大学4年生と大学院1年生の約40名が参加し、具体的な仕事内容について相談しやすいよう少人数の班別で業務紹介を行い、仕事内容や勤務状況について多くの質問が寄せられました。

## 【実施概要】

イベント名：日本大学生産工学部出前講座

日時：2018年4月9日（月） 14時40分～16時10分（90分）

場所：日本大学津田沼キャンパス 39号館505教室

対象：日本大学生産工学部土木工学科4年生、大学院1年生 約40名

実施内容：GKP未来会の紹介、下水道の役割・職種の紹介、班別コミュニケーション

参加団体：川崎市、内閣府、ヴェオリア・ジャパン、極東技巧コンサルタント、東亜グラウト工業、日水コン、日本水工設計、日之出水道機器、明電舎



業態毎に業務内容  
などを紹介



GKP未来会、下水道の  
役割の紹介の様子



（森田教授の講評）  
現役の方々に来てもらったからこそ、学生が身を乗り出して聞いている様が見られた。今日の話参考に、インフラを支えるためにより良い技術者を目指してほしい。

## 下水道展18 インターンシップ&キャリアセミナー（平成30年7月27日）



GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、平成30年7月27日、下水道展18に合わせて、西日本総合展示場にて表題イベントを実施しました。

イベントは下水道協会との共同企画にて実施し、国交省、北九州市による「特別講演」、企業ブースが出展する「キャリアセミナー」、未来会メンバーが学生をアテンドして下水道展ブースを見て回る「下水道展参観ツアー」と、ボリュームのある企画となりました。

特別講演では、国、自治体の取り組みや最新動向等、キャリアセミナーでは出展企業によるリクルート情報の共有、下水道展参観ツアーでは各企業の最新技術を一緒に見て回った後にディスカッションを行うなど、さまざまな形式で下水道業界の魅力を伝えることができました。

当日は自由参加であったため、後半の下水道展参観ツアーでは、見込みよりも少ない参加人数となりましたが、アンケートの結果からも、「ツアーに参加して良かった」、「たくさんのお話を聞くことができてうれしかった」と好評をいただいたものと思います

ツアーへの参加学生は、意識の高い方も多く、積極的なディスカッションが行われており、学生にとっても貴重な体験であったことと思います。

### [実施概要]

イベント名：下水道展18 インターンシップ&キャリアセミナー

日時：2018年7月27日（月） 10時00分～17時00分

場所：西日本総合展示場

対象：大学生、専門学校生44名（特別講演参加者人数）

実施内容：特別講演、キャリアセミナー、下水道展参観ツアー

参加団体：福岡市、佐賀市、北九州市、川崎市、内閣府、日水コン、前澤工業、極東技工コンサルタント  
ヴェオリア・ジャパン、メタウォーター、NJS、日之出水道機器、西原環境、日本水工設計  
日本水道新聞社、フソウ、月島機械

# 下水道マニアin舞岡（平成30年8月20日～23日）

「下水道マニア」は普段目にする事のない下水道について実際に「体験や見学」をしていただくための夏季集中講座であり、舞岡高校での開催は今年で2回目になります。科学部の生徒を中心に、水再生センターの管廊巡りやマンホール蓋でじゅんかん育ち食材を使ったバーベキューなど、新たな取組を加えて講座を行いました。

## 〔実施概要〕

イベント名：「下水道マニア」in 舞岡

日時：2018年8月20日（月）～23日（木）

場所：神奈川県立舞岡高等学校、栄第二水再生センター

対象：舞岡高等学校の夏季集中講座受講者 生徒12名

実施内容：講義、管内入坑体験、マンホール蓋でBBQ、OBによるキャリア形成講演  
水再生センター管廊巡り

参加団体：下水道広報プラットフォーム、メタウォーター株式会社、水ing株式会社、  
虹技株式会社、管路情報協同組合、日之出水道機器株式会社



日之出水道機器(株)の山田氏に「広報の仕事」について“楽しく”語っていただきました。



管内入坑体験



講義：下水道の歴史



横浜のベイブリッジデザインのマンホール型鉄板でじゅんかん育ちBBQ！



下水の臭いを体感@沈砂池



管廊巡り



# 第18回下水道管更生技術施工展2018神戸（平成30年9月27日）

管路協主催の上記イベントにGKP未来会として初めて参加しました。7月に始動したばかりのGKP未来会関西に声をかけ、対象に下水道の役割や現状を伝える講演会を開催しました。

## 〔実施概要〕

イベント名：第18回下水道管更生技術施工展2018神戸

日時：2018年9月27日（木） 10時～10時30分（30分）

場所：神戸市・垂水スポーツガーデン

対象：県立兵庫工業高校78人、県立東播工業高校40人、計118人

実施内容：下水道の役割と施設の老朽化対策の紹介、神戸市の下水道の紹介

参加団体：神戸市、東亜グラウト工業(株)、日水コン(株)、日本水工設計(株)、(株)日本水道新聞社



「下水道の役割と現状」(東亜グラウト工業(株)常務 大岡太郎氏)  
道路陥没を引き起こす下水道施設の老朽化を上げ、下水道業界としての取り組み(調査、点検、清掃、管更生)を紹介いただきました。



「神戸市の下水道」(神戸市建設局西水環境センター新谷悠太氏)  
現在の神戸市の下水道施設のストック数を紹介した後、新谷さん自身の業務内容の紹介をしていただきました。



# 東京電機大学仕事研究セミナー（平成30年10月27日）



GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、平成30年10月27日に東京電機大学でGKP未来会の活動を行いました。学生支援センター池内課長に協力いただき、初めての参加となりました。

大学4年生と大学院1年生の約250名に対してGKP未来会活動内容を説明し、個別ブースには13名の学生が具体的な仕事内容について紹介を受け、仕事内容や当時の志望動機等について多くの質問が寄せられました。

## [実施概要]

イベント名：東京電機大学 仕事研究セミナー

日時：2018年10月27日（土） 13時00分～17時00分

場所：東京電機大学北千住キャンパス 1号館 100周年ホール

対象：東京電機大学 学部3年生、大学院1年生を中心とした 約250名

実施内容：GKP未来会の紹介、下水道の役割・職種の紹介

参加団体：川崎市、ヴェオリア・ジャパン、フソウ、前澤工業、メタウォーター

参加学生に対し未来会の紹介、説明を実施し、下水道が日常生活とどのような繋がりがあるかを説明しました。



SNSを用いた情報発信をしていることについて  
下水道界やその他イベントに興味を持っていただきました



## YWP ウィークエンドセミナー（旧お仕事セミナー）開催報告

### 1. イベント概要

- 日時： 2018年11月3日（土）14:00-19:00
- 場所： 東京大学本郷キャンパス
- 主催： Japan-YWP

#### ※Japan-YWP（Japan National Young Water Professionals）とは

Japan-YWP は、International Water Association（IWA）日本国内委員会の下部組織として、2010年3月5日に設立。日本水環境学会、日本水道協会等と密接な連携し、上下水道・水環境に関連する分野の学術的研究・知識の普及・水環境保全への積極的な貢献を目的とする若手中心の組織。教育・研究機関、官公庁・自治体、民間企業に所属する水関連の若手が集まり、分野・職種間の交流促進、水問題に関する様々な情報交換を行うプラットフォームを構築。他国のYWPとの交流も行い、若手の国際ネットワークを広げている。

#### ○狙い：

人口減少、少子高齢化、老朽化、気候変動、災害対応、エネルギー、これらのキーワードから連想される多くの課題を水業界は抱えている。これらの課題を解決し、生活に必要な水インフラを次の世代へ繋いでいくのは若手である。本セミナーでは、第一線で活躍されている特別講師を招き、現在の水業界の若手および将来の若手となる学生を交えて水業界の将来について一緒に考え議論する機会を提供することを目的とした。

#### ○プログラム：

##### <前半の部>

14:00-15:45 ・開会あいさつ

- ・特別講義1 水道経営パートナーズ株式会社 山口岳夫代表取締役社長
- ・特別講義2 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 滝沢智教授

##### <後半の部>

16:00-18:00 ・お仕事紹介（参加企業、団体が学生に対してそれぞれの仕事内容等について紹介）

18:00-19:00 ・懇親会

#### ○未来会ブース参加者（順不同、敬称略）：

川崎市、日水コン、NJS、日本水道新聞社、内閣府

### 2. 報告事項

前半の部では、水道技術経営パートナーズ株式会社山口社長および東京大学大学院の滝沢教授より特別講義をいただいた。山口社長は、日本の水道業界の将来展望、課題、対策に関して、滝沢教授は SDG6に関連した都市渇水の例として、ネパールの事例に触れて研究のやりがいについてお話しいただいた。



## GKP未来会×立命館大学活動報告

2018年11月8日に開催された立命館大学の3回生向けの講義“特殊講義（専門）Ⅲ（卒業研究入門）”をお借りして、GKP未来会の活動を行いました。惣田訓教授の全面協力を頂き、立命館大学で同イベントの初開催を迎えることができました。

### 1. 実施概要

イベント名：GKP未来会×立命館大学

日 時：2018年11月8日（木）16：20～17：50（90分間）

場 所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス（C104）

対 象：立命館大学3回生80名

備 考：講義の時間を使用

実施内容：

- GKP未来会紹介
- 下水道業界の紹介
- 水の天使講演
- じゅんかん育ち
- グループワーク

### 2. 実施成果、所感

本イベントでは学生の“キャリア形成の一助”となることを目標とし、下水道業界の役割、仕事内容、下水道の可能性や海外の下水道ビジネス等を説明しました。その後、2018ミス日本「水の天使」の浦底里沙さんに下水道の魅力について講演いただきました。また、学生さんに佐賀市さんからいただいた「じゅんかん育ち みかん」を試食してもらい、下水道の可能性、魅力を伝えることができました。



写真1：講義の様子

下水道の紹介のあとは、学生さんに4グループに分かれてもらい、行政、コンサル、メーカーで1グループとなり、各グループでリレートークを行いました。

就職活動を控えている学生さんということもあり、「下水道業界に近年外資系の会社が参入しているが、日本としてはどう考えているか？」など活発な質問をいただきました。

講演後の学生さんからの感想の中に「今まで下水道業界についてあまり知らなかったけど、講義を受けて役割や各社のつながりを理解できた」や「下水道業界が魅力的に感じた」等前向きな意見をたくさんいただくことができました。



写真2：グループワークの様子

立命館大学では今年度が初開催となりましたが、来年度、再来年度の開催に向けてGKP未来会メンバー一同、活動強化を図っていきたいと思います。



写真3：未来会参加メンバー

# 日本大学理工学部出前講座（平成30年11月9日）

GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、平成30年11月9日に日本大学理工学部でGKP未来会の活動を行いました。齋藤利晃教授にご協力頂き、初めての開催となりました。

大学3年生31名が参加し、具体的な仕事内容について相談しやすいよう少人数の班別で業務紹介を行い、仕事内容や勤務状況について多くの質問が寄せられました。

## 【実施概要】

イベント名：日本大学理工学部出前講座

日時：2018年11月9日（金）13時20分～14時50分（90分）

場所：日本大学駿河台キャンパス タワースコラ4階403室

対象：日本大学理工学部土木工学科3年生 31名

実施内容：GKP未来会の紹介、下水道の役割・職種の紹介、班別コミュニケーション

参加団体：川崎市、極東技工コンサルタント、月島機械、日本水工設計、  
日本水道新聞社、日之出水道機器、前澤工業、明電舎



GKP未来会、下水道の  
役割の紹介の様子



業態毎に業務内容  
などを紹介

（学生さんの声）  
考えていた業種以外の  
話を聞くことができ視  
野が広がった



（学生さんの声）  
様々な業種があるのを  
初めて知った

## 下水道を未来につなげる会 三河島水再生センター見学・ワークショップ報告

このたび、11月10日に「三河島水再生センター見学・ワークショップ」を開催しました。

大学3年生から修士課程までの学生7名が集まり、下水道事業を最前線で担う自治体、コンサルタント、メーカーの若手職員が三河島水再生センター見学やグループワークを通じて歓談をともにしました。グループワークでは「下水道とは〇〇」のテーマのもと、各グループの考えをプレゼンしました。独創的な切り口から様々な取り組みへの道筋が提示されたとともに活発な意見交換がなされ、イベントは盛況のうちに終了しました。



写真 イベント終了後に撮影した集合写真

### 1. 実施概要

イベント名：三河島水再生センター見学・ワークショップ

日時：11月10日9時～17時

場所：三河島水再生センター、東京電機大学北千住キャンパス

参加人数：大学、大学院生ら7名（男6名、女1名）

実施内容：

○水再生センターの役割と処理方法概要に関する特別講義（東京都下水道局 北部下水道事務所 三河島水再生センター長 高橋明宏氏）

○三河島水再生センター・重要文化財旧三河島汚水処分場唧筒場施設見学（引率：東京都下水道局 北部下水道事務所 三河島水再生センター職員）

○自治体・民間企業職員とのランチミーティング

○日常生活と水再生センターの繋がりに関する講義（(株)日水コン 下水道事業部東部事業マネジメント部技術第一課 富永昌伸氏）

○日本の下水道界に関する講義（日之出水道機器(株) 東京支店横浜営業所 中野由優季氏）

○グループディスカッション（趣旨説明：メタウォーター(株) プラントエンジニアリング事業本部 GENESEED 技術部 第一グループ 羽山徹氏）

・午前中の見学やこれまでの講義を通して得た知識をもとに、グループ毎に「下水道とは〇〇」のテーマにディスカッションしてポスターを作成してもらう

○グループ発表

○総括（東京都下水道局 総務部広報サービス課長 坂井良充氏）

### 2. 実施成果、所感

見学する機会の少ない水再生センターと重要文化財に指定されている旧三河島汚水処分場唧筒場施設を見学し、下水が処理される過程を五感で体験してもらいました。アンケート結果からは、当日のイベントで最も印象に残ったこととして「センターの見学を挙げた学生の割合：86%」や「イベントを満足と答えた学生の割合：100%」「イベントに参加して下水道に関わる仕事や勉強をしてみたいと答えた学生の割合：71%」から、センターの見学により下水道界の仕事に関わりたいと答えてくれた学生が過半数を超える結果となりました。

また、実施したアンケート記述から「このようなイベントの機会を増やしてほしい」「多くの人に知ってもらいたい」と感想を頂きました。今後ともこのような機会を提供することで、下水道界の魅力を伝えていきます。

最後になりましたが、今回のイベント実施にあたり、ご協力いただいた東京都下水道局、東京電機大学の関係者の皆様に心より御礼申し上げます。



写真（左）高橋明宏氏の特別講義、（右）三河島水再生センター見学の様子



写真（左）富永昌伸氏の講義、（右）中野由優季氏の講義



写真（左）グループディスカッションの様子、（右）発表の様子

（参考）アンケート結果（速報値）

### 三河島水再生センター見学・ワークショップ参加者アンケート結果まとめ

1. 出席者数 7名 回答数 7名（アンケート回答⑦以降は5名）
2. 大学所在 関東 6名 東北 1名
3. 学科等 土木系 1名 機会電気系 2名 環境・化学系 3名 情報系 1名
4. 学年 B3 4名 B4 1名 M1 2名
5. 性別 男性 6名 女性 1名
6. アンケート回答

① 本日のイベントをお知りになったきっかけを教えてください。（1つ選択）

- ホームページを見て 0名
- 未来会の Facebook、Twitter を見て 0名
- 学校の掲示板 2名
- 先生・教授の紹介 1名
- 知人・先輩から聞いて 1名
- 水ビジネス業界インターンシップ&キャリアセミナーのチラシを見て 1名
- その他 1名（インターンシップ先からの案内）

② 本日のイベントに参加した理由を教えてください。（複数選択可）

- 下水道界に興味があったから。 4名
- 業界や企業の事業内容を知りたかったから。 4名
- 下水道展の見学に興味があったから。 4名
- 社会人と話す機会や他大学生との人脈を得るため。 1名
- その他 0名

③ 本日のイベントはいかがでしたか？（1つ選択）

- 満足 7名                       やや満足                       やや不満足                       不満足

#### 理由の例

- ・普段見ることのできない水再生センターが見学できた
- ・下水道の社会的役割と水ビジネスを再認識できた
- ・下水道界の社会人とコミュニケーションを取り、新鮮でいい刺激になった
- ・ここで働いてみたいと思えた
- ・下水道の知識が深まった
- ・下水道の見学が初めてで楽しかった

④ 本日のイベントの難易度はいかがでしたか？（1つ選択）

- 大変難しい                       難しい                       普通 6名                       易しい 1名                       大変易しい

⑤ 本日のイベントに参加して下水道界の印象は良くなりましたか？（1つ選択）

- はい（今回のイベントをきっかけに印象が良かった） 7名

いいえ

理由の例

- ・もともと下水道界に興味を持っていたが、知識を深めることができた
- ・にごった汚水から単純な処理でサンゴを育てることのできる水に変化させることができると知り感動した
- ・生の声を聞き、やりがいを持って働いていることを知った
- ・汚水を処理するだけでなく、再利用にも使われているため
- ・水質を守ってるというより環境を守っていると感じたから
- ・どのような事を行っているのか知れたため
- ・下水処理せずに海に流したら、かなり臭くなるのが予想される。その臭いを体感して尚更有難みを知れたから

⑥ 本日のイベントの中で一番印象に残ったことは何ですか？

- ・三河島水再生センター見学 6名
- ・グループワーク 1名

⑦ あなたが感じた下水道界の魅力はなんですか？（複数回答可）

- 業界としての安定性（なくてはならないインフラであるため） 4名
- 将来性の大きさ（世界の水市場が拡大しているため） 4名
- 社会的使命の高さ（汚水処理や雨水管理を行い市民生活を支えるインフラであるため） 4名
- 意外性（ピストロ下水道や発電など資源・エネルギー利用をされているため）
- 国際性の豊かさ（国際貢献しているため）
- 広報の面白さ（マンホールカードや未来会、水の天使の活動など）
- 仕事に幅広い業種があること
- その他

⑧ 本日のイベントに参加して下水道に関わる仕事や勉強をしてみたいと思いませんか？（1つ選択）

- はい（今回のイベントきっかけにしたいと思った） 5名
- 思わない

理由の例

- ・以前から思っていたがさらに強く思った
- ・知れば知るほど人の生活に重要であり、なくてはならない存在だと知ることができた
- ・自分の専攻に一致しているため
- ・まだ普及していない地域に対して訴求力がある
- ・仕事として安定していてかつ楽しそうだったため

⑨ あなたが現在興味を持っている業種は何ですか？（複数回答可）

- 総合水会社 2名
- 建設・エンジニアリング会社
- コンサルタント会社（調査、建設、経営、環境） 3名
- 機械・電機・化学・素材メーカー 3名
- 維持管理会社
- エネルギー等その他インフラ（電力、ガス、水道、道路） 2名
- IT・通信・メディア 2名
- 商社
- 公務員 2名
- その他

⑩ その他、イベント内容や未来会が行う活動への改善点・ご感想などご自由にご記入下さい。

- ・もっと機会を増やしてほしい
- ・もっと色々な人に知ってもらえればいいと思う
- ・今回は貴重な経験で楽しかったです
- ・ありがとうございました。
- ・お弁当美味しかったです

## GKP未来会×京都大学活動報告

2018年11月12日に開催された京都大学の3回生向けの講義“下水道工学”をお借りして、GKP未来会の活動を行いました。田中宏明教授の全面協力を頂き、京都大学での同イベントは3回目の開催となりました。

### 1. 実施概要

イベント名：GKP未来会×京都大学

日時：2018年11月12日（月）8：45～10：15（90分間）

場所：京都大学吉田キャンパス総合研究4号館共通3

対象：京都大学3回生40名

備考：講義、下水道工学の時間を使用

実施内容：

- GKP未来会紹介
- グループワーク前の情報提供、事例紹介（琵琶湖流総計画、堺市災害対策）
- グループワーク
- 発表

### 2. 実施成果、所感

昨年度の京都大学のイベントにおいて「学生に社会人と一緒にディスカッションする場を作る」企画をしたところ、活発な議論が交わされ、学生側未来会側双方から好評いただきました。そこで、今年も我々からの情報提供として2つ紹介した後、テーマに沿ったディスカッションを実施しました。情報提供では、琵琶湖流総計画を紹介し、超高度処理の導入にむけての背景や課題を説明しました。また、災害対応が学生にはイメージしやすいと考え、堺市の事例をもとに下水道の災害対応についても情報提供を行いました。



写真1：情報提供の様子

情報提供のあとは、学生にグループに分かれてもらい、「もし自分が公務員なら、民間の企業人ならこの課題に対してこのように取り組みたい」ということをテーマにディスカッションし、

「お金がないなら、使用料を値上げすべき。消費税増税のように国民へ値上げの必要性を訴え理解を求める努力をしてはどうか？」

「災害対策の総費用と対策を行わなかったときの被害額を比較しているのか？」

など我々もドキッとするような意見がありました。

最後は、ディスカッション内容を発表して頂き、さすが京都大学の学生さんと思わせる理解力と短時間でまとめる能力にGKP未来会一同感心しました。



写真2：学生とのディスカッションの様子

今年度はGKP未来会関西の活動も他大学で開催する等、確実に実績を踏んできています。来年度は受講者からの声も参考にし、さらなる発展に向けて活動していきたいと思えます。



写真3：グループ発表の様子

# 木更津高専×GKP未来会“水ビジネスと下水道”ワークショップ°（平成30年12月7日）



GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、平成30年12月7日に木更津高専でGKP未来会の活動を行いました。今年で4回目の開催となりました。

高専生環境都市工学科4年生の約45名が参加し、場内見学による下水道の役割に対する理解、業界ごとの仕事内容について班別でディスカッションを行い、仕事内容、勤務状況について質問がありました。

## 【実施概要】

イベント名：木更津高専×GKP未来会“水ビジネスと下水道”ワークショップ

日時：2018年12月7日（金） 13時20分～16時45分

場所：木更津下水処理場会議室

対象：木更津工業高等専門学校環境都市工学科4年生 約45名

実施内容：GKP未来会の紹介、処理場見学、講演（下水道の役割）、就職体験記、お仕事紹介（グループディスカッション）

参加団体：国土交通省、日水コン、極東技工コンサルタント、前澤工業、月島機械、メタウォーター、ヴェオリア・ジャパン



GKP未来会、ワークショップ紹介の様子



場内見学

グループディスカッション



下水道の施策・役割講演



（上村教授の講評）  
場内見学、講演、グループディスカッション等を踏まえ、自分の将来を見つめなおし、より良い将来展望を持ってください。

# 東京都市大学世田谷キャンパス業界・仕事研究会（平成30年12月12日）



GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、平成30年12月12日に東京都市大学世田谷キャンパスにて開催された「業界・仕事研究会」に例年同様参加させていただきました。

訪れた大学4年生と大学院1年生に、GKP未来会や下水道業界、各職種の仕事内容についてスライドを用いて説明いたしました。下水道業界に興味を持っていただくことができ、海外事業や官民連携、各メーカーの強み等々について、様々な質問が寄せられました。

イベント名：東京都市大学 世田谷キャンパス業界・仕事研究会  
日時：2018年12月12日（水） 13時20分～17時10分（50分×4セット）  
場所：東京都市大学 世田谷キャンパス 1号館1階11A教室  
対象：東京都市大学理工学部 学部3年生、大学院1年生約15名  
実施内容：GKP未来会の紹介、下水道の役割、各職種のお仕事紹介  
参加団体：横浜市、NJS、日本水工設計、日之出水道機器、前澤工業  
月島機械、メタウォーター、フソウ、明電舎



GKP未来会、下水道の役割の紹介の様子



興味深く聴講する学生



個別に質問する学生



各職種の仕事説明



質疑応答

水ビジネスの  
今とこれからの考える

行政、コンサルタント、メーカー……  
たくさんの団体・企業と、幅広い技術。  
あなたが活躍するフィールドがきっとあります。

参加団体  
国土交通省、横浜市、川崎市、下水道協会、相模理工コンサルタント、NJS  
日本水工設計、日水コン、PWO、EY新日本有責任監査法人、月島機械  
日之出水道機器、明電舎、前澤工業、積水化学工業、東亜グラフ工業  
メタウォーター、フェネシア・ジャパン、フソウ、日本水通新聞社、水道産業新聞社

2018/12/12  
東京都市大学 業界・仕事研究会



# 日本大学生産工学部出前講座（平成31年1月15日）

GKP下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、平成31年1月15日に日本大学生産工学部で出前講座を行いました。森田弘昭教授にご依頼頂き、日大生産工学部では2回目の開催となりました。

大学3年生と大学院1年生の約40名が参加し、下水道事業の業界分析や具体的な課題に対する解決方法の検討に関するワークショップを行い、学生どうしで活発な議論が行われていました。

## 【実施概要】

イベント名：日本大学生産工学部下水道の仕事紹介・体験講座

日時：2019年1月15日（火） 16時20分～19時00分（160分）

場所：日本大学津田沼キャンパス 39号館402教室

対象：日本大学生産工学部土木工学科3年生、大学院1年生 約40名

実施内容：GKP未来会の紹介、下水道の役割・職種の紹介

ワークショップ①：下水道事業と他事業の比較

ワークショップ②：浸水対策・維持管理に関する対策手法の検討

参加団体：川崎市、日水コン、日本水工設計、フソウ、東亜グラウト工業、日本水道新聞社、水道産業新聞社



▲水や下水道について講義



▲各社の紹介▼



▲課題の解決方法を検討中！



▲学科OBから学生へ



▲検討結果を相手に説明！

（森田教授の講評）  
下水道業界で働く学生と年齢の近い社会人の先輩から、直接話を聞いた今回の授業は、就職活動を控える学生にとって非常に有意義なものでした。学生も緊張感をもって授業に取り組んでいたと思います。



# G K P 未来会×大阪工業大学（平成31年2月8日）

平成31年2月8日に開催された大阪工業大学環境工学科の3回生向けの講義“環境施設設計”をお借りして、G K P 未来会の活動を行いました。古崎康哲准教授の全面協力をいただき、大阪工業大学で同イベントの初開催を迎えることができました。G K P 未来会からは下水道業界の仕事内容、役割や可能性を伝え、学生さんには下水道の魅力を未来会メンバーと一緒に考えてもらうことで、下水道への関心、理解を深めてもらいました。

イベント名：GKP未来会 × 大阪工業大学

日時：2019年2月8日（金） 13時30分～15時00分（90分）

場所：大阪工業大学 7号館6階761教室

対象：大阪工業大学工学部環境システム工学科3年生 約40名

実施内容：GKP未来会の紹介、下水道業界の紹介

グループワーク：「『2025大阪・関西万博』において、下水道事業の魅力を第三者にどう伝えるか」

参加団体：滋賀県、堺市、神戸市、クリアウォーター-OSAKA(株)、(株)極東技工コンサルタント、日本水工設計(株)

(株)日水コン、メタウォーター(株)、ヴェオリア・ジェネッツ(株)、(株)西原環境、JFEエンジニアリング(株)

水ing(株)、(株)神鋼環境ソリューション、(株)日本水道新聞社



▲未来会の紹介



▲下水道業界の紹介



▲グループワーク①



▲グループワーク②



▲グループワーク発表①



▲グループワーク発表②

（古崎准教授の講評）  
下水道業界で働く社会人の先輩と接することで、下水道業界への理解が深まったと思います。グループワークについては、積極的に取り組めるか不安でしたが、闊達に自分達の意見を出し、熱心に取り組んでいたと思います。就職活動を控える学生にとっては非常に有意義なものでした。